



紅葉が見頃となってきた11月20日(月)21日(火)の1泊2日間、6年生が奈良と京都へ修学旅行に行ってきました。修学旅行の目的として、以下の3つを掲げました。

- ① 古都に残る文化遺産や自然に親しみ、見聞を広める。
- ② マナーやルールを守り、自覚ある行動を取る。
- ③ 友情を深め、小学校生活の楽しい思い出を作る。

また、学級の3か条として、以下の3つを守るようにしました。

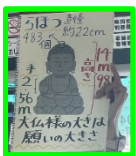
- ① お互いを思い合って助け合う。
- ② めりはりをつける。
- ③ マナーや礼儀を意識して生活する。



昨年度は傘をさす場面がありましたが、今年度は天気に恵まれ快晴。すべての見学地を美しい紅葉と過ごしやすい気候の下で気持ちよく見て学ぶことができ、とても素晴らしいものとなりました。

最初の見学地は、聖徳太子ゆかりの法隆寺。月曜日の午前中は人出が少ないようで、とてもスムーズに回ることができました。ガイドさんの説明に真剣に耳を傾け、大切なことをタブレットに記入しながら学びを深める場面が多々見られました。また、手を触れてよい建造物を実際に触って歴史や文化を肌で感じたり、悠久の時を超えて現存する文化遺産や仏像に心を奪われて見入ったりする姿が随所に見られました。

続いて訪れた奈良公園。東大寺南大門へと歩みを進める途中で出迎えてくれる鹿たちに大歓声。また、様々な国から日本を訪れている外国人観光客に驚きながらも笑顔で挨拶を交わす姿に、小学生らしい微笑まじさを感じました。



子供たちは大仏殿を訪れる前に、バスの車内でガイドさんから様々な説明を受けていましたが、実際の奈良の大仏様を見ると足が止まり、高さ約15mで校舎よりも高く5階建てのビルに相当する大仏様に圧倒されました。さらに今年度



ラッキーだったのは、大仏様の鼻の穴とほぼ同じ大きさの穴をくぐる柱くぐり。昨年度はコロナの影響で板でふさがれていましたが、今回はチャレンジすることができ、たくさんの子が柱をくぐることができました。大人になって成長するとなかなかくぐりづらいため、今回できたのはきっと良い思い出になるに違いありません。



その後、二月堂、三月堂を見学し、最後にお土産を買ったり鹿にせんべいをあげたりしながら、奈良での修学旅行を終えました。

京都の宿では、伝統工芸体験に夢中になって取り組みました。作品作りに苦勞している子を思いやり、助けてあげる場面もたくさん見られ、優しさ溢れる6年生でした。続く。